

第3回 まちなか再生ワークショップのまとめ

0. エリアマネジメントを進める体制づくり

内容	<p>これまでできなかった無力感を越えて、小さなことでもやれることから取り組む地に足のついたまちづくりを進める。</p> <p>行政任せではなく、市民、地区住民、町内会など、様々な団体が連携し、ゾーニングなどまちづくりを考える組織が必要である。</p> <p>市の商工観光部局も連携した体制づくりをするとともに、まちづくり組織を条例などで支援する。</p>
事業主体	市民、地区住民、町内会などによるまちづくり組織
協力支援	行政内部支援体制

1. エリアマネジメントを進めていく上で

①エリアマネジメント活動の広報の徹底

内容	<p>今回のエリアマネジメント活動をもっと市民にってもらうため、ホームページや広報だけでなく、もっと細かい情報を伝える方法が必要である。</p> <p>行政と市民が協力して口コミで情報を広めたり、行政がマスコミ各社に情報提供や話題づくりをして取り上げてもらう方法や、市が各町内会を回って説明会を開催する方法がある。</p>
事業主体	行政
協力支援	市民、マスコミ、町内会

②地区住民等の参加

内容	<p>地区に住んでいる人、働いている人、商店街が参加していないといけない。</p> <p>そのためには、地区内の人たちに当事者意識をもってもらうように、巻き込んでいく仕組みを考える必要があり、地区外から参加した人が動くことで、地区内の人に興味をもつきっかけできるようにしたい。</p> <p>地区の若い人が何人か集まって楽しく議論できる体制づくりが必要である。</p> <p>また、地域の宝を知る人に参加してもらうため老人クラブに協力してもらう。</p>
事業主体	地区に住んでいる人、働いている人、商店街
協力支援	老人クラブ

2. 景観の保全活用

①眺望の活用

内容	<p>第一田名部小学校からの眺めを活用するため、高台へ憩いの場を整備し、行政が本町通りの電線地中化を図り、昔の写真を市から提供してもらい旧田名部駅で展示して比較できるようにする。</p> <p>また、第一田名部小の階段は歴史があるので活かしつつ、幅を狭くして低木を植える。行政が整備して、町内会が維持管理をする。高台へ整備する憩いの場は、全国コンペで若手の美術家に緑地景観を競ってもらい、良いものを整備する。</p> <p>事業主体としては、行政と周辺住民で設置する協議会やまちづくり組織が考えられ、周知だけならNPO法人や振興組合が考えられる。</p>
事業主体	行政（整備）、町内会（維持管理）、協議会（行政+地区住民）、NPO、商店街
協力支援	

②歴史的な建物の活用

内容	<p>本町には蔵などたくさんの魅力があり、今まで気づけなかったところに光を当てていきたい。</p> <p>歴史的な建物があるので観光に活用するため、見学ができるようにしたり、歴史の展示、散策ルートへの組み込みなど、所有者ときちんと相談する必要がある。</p> <p>また、歩いて見てもらうには、周辺の建物も塗装するなどきれいにする必要もあり、建物の価値を計るためにも専門的な立場から建築士会の協力も必要になる。</p> <p>事業を進めるためには、建物の所有者と協力して、行政と中間的な組織をつくり、行政からの補助も必要になる。</p>
事業主体	所有者、行政
協力支援	建築士会

③地区全体の景観改善

内容	<p>花いっぱい運動は実際に動いている人がおり、町内会や商業者、老人クラブ、障がい者団体なども巻き込み、市民運動として取り組む。また、団体を立ち上げ、ファンド等で費用を捻出する方法もある。</p> <p>ただプランターを置くだけでなく、花が好きな人が理想の花壇をつくれるフラワースペース（花壇）を貸し出したり、屋根付きベンチなど休憩スペースをつくと良い。</p>
事業主体	町内会、商店街、老人クラブ、障がい者団体
協力支援	

④散策ルートの設定

内容	<p>旧田名部駅をスタート地点にして、常念寺や田名部神社、年金横丁、白浜邸など地区内歴史的な建物や地区外の寺も含めて、散策ルートを設定すると良い。</p> <p>空き店舗を活用した地区の古い姿が見られる写真の常設店や歴史や自然などのタイプ</p>
----	---

	<p>別コースの設定をすると良い。</p> <p>まちなか再生協議会など市民団体やNPOを設立して、情報交換やまちを見つめ直す機会を設け、まちの案内や冊子づくりに取り組む。また、行政の支援も必要である。</p> <p>見どころ情報を入手できるようにQRコードをつくる。</p> <p>観光協会が中心となって、面白い人材をスカウトして、夜のまちなか案内ができる面白。</p>
事業主体	市民団体（協議会、NPO）、観光協会
協力支援	行政

3. 河川の保全活用

内容	<p>田名部川や明神川は地区のやすらぎになるので、町内会まかせの清掃ではなく、行政が市民と一緒に清掃計画をつくり、市民一斉清掃に取り組む。特に合流地点は石碑もあるので、きれいにしてほしい。</p> <p>青年会議所が中心になって、田名部川を使って物資を運んでいた昔の川登りの再現に取り組む。</p>
事業主体	行政、市民、青年会議所
協力支援	

4. 湧水の活用

内容	<p>地区にはきれいな湧水が各所にあるので、「おいしさ比べ」など活用できる。そのためには、大湊の事例を参考にしながら、町内会や湧き水のある土地の所有者を中心に組織を立ち上げ、実際の管理は所有する個人家庭に任せる。</p> <p>活用する前に、水質や量など湧き水の調査を市の資金的な協力の下、時間を掛けて実施した方がよい。また、冬期間の融雪への利用により止まりやすくなることへ対策が必要である。</p>
事業主体	町内会、地権者
協力支援	行政

5. 歩行者ネットワークの形成

内容	<p>明神川を活用しながら、通路や縁台、自由にペイントできる護岸を整備し、地区内の商店街と飲食店、代官山公園や横迎町など隣り合う地区など、地区内外をつなげる歩行者ネットワークを形成する。お店のある表側だけでなく地区の裏側を歩いて楽しむ観光や散歩ができる。</p> <p>地区住民と商店街でネットワークづくりに取り組み、危険な箇所の改善など整備は行政が行う。</p> <p>昭和町通りは地権者が少なく改善しやすいので、散策ルートとして、電力会社と地権者の協力で電柱を移設し、行政が通りを整備する。</p> <p>川の上に何かを架けることで、川に落ちる人もなくなり、子どもの遊ぶ場所ができ、散歩もできるようになる。</p>
----	---

	<p>そのためには公共下水へ加入により水をきれいにする必要がある。</p> <p>一部を試験的に歩行空間にしてみる方法もある。</p> <p>但し、雪片づけに川を利用している人もおり、わざわざ危険なエリア整備して子どもを遊ばせる必要があるか考える必要がある。</p>
事業主体	行政
協力支援	

6. まちなか居住の推進

内容	<p>国の制度を活用し、田名部ショッピングセンター跡地や旧田名部駅裏の空き地に、行政が土地を借りて、民間事業者を公募し、高齢者向けのサービス付き住宅を整備する。また、事業主体として、新たな会社をつくる方法もある。整備する際は、市の出張所を一階に入れ、コンビニなど買い物環境も整える必要がある。</p> <p>福祉的な視点を採り入れ、市民ワークショップで検討したり、シミュレーションを重ねることも必要である。</p>
事業主体	行政（借地）、事業者（整備）
協力支援	

7. 憩いの場の整備

内容	<p>田名部通りは「高齢者にやさしく、文化が残っている、子ども連れをターゲットにした通り」、昭和通りは「明神レトロ、昔の良さが残る通り」のように通りのもつイメージを共有し、統一化する。</p> <p>ショッピングセンター跡地を、子ども達が通った昔の闇市場のように、全ての子どもや障がい者が参加でき、高齢者がその面倒をみる寺子屋的な憩いの空間に整備する。若者によるチャレンジショップを実施するのも良い。</p> <p>事業主体として、町内会やNPO、民間会社などで新会社をつくり、田名部駅前通り沿道の開発に取り組む。街の駅を活動拠点の一つにして、地区内の活動団体は連携して活動に取り組む。</p> <p>また、障がい者に仕事をしてもらえるように組織づくり、支援制度を活用する。</p>
事業主体	新会社（町内会+NPO+事業者）
協力支援	

8. 地域の文化資源

①川島雄三の活用

内容	<p>川島雄三の生家があることから、旧田名部駅前から監督作品の映画ポスターの掲示や、松木屋に看板を建てて誘導したり、川島雄三検定を作成するなど、地域の文化資源として活用する。本町通りを川島雄三ロードに名称変更するのも良い。案内サインは行政が整備する。</p> <p>新たな川島雄三の資料を発掘し、図書館の蔵書を来さまい館に集約して展示コーナーをつくったり、観光客向けとして、川島雄三の叔父さんが語る例会を開催する。</p>
----	---

	<p>事業には、行政や飲食店組合、商店街振興組合との連携により、川島雄三を好きな人を巻き込んで、川島雄三を偲ぶ会を強化して取り組む。</p> <p>第一田名部小の眺望や代官山公園、斗南藩縁の地などともに歴史ロードを形成するのも良い。</p>
事業主体	川島雄三を偲ぶ会
協力支援	行政、飲食店組合、商店街

②飛内ミュージアムへの支援

内容	<p>妖怪ハウスをもっとオープンに展示できるように、オーナーである飛内氏に支援をする必要があるが、行政が個人を支援するのは難しいので、ミュージアムを支援する形をとる。</p> <p>多くの人に見てもらえるように、飛内ミュージアムを散策ルートに加える。</p> <p>バスターミナル2階など、展示場所を変えてみるのも一つの方法である。</p>
事業主体	行政、飛内氏
協力支援	

9. 飲食店街の整備改善

内容	<p>地区内を、子ども向けの教育的な昭和レトロの街、大人向けの夜を楽しむ街のように、年齢層によってゾーン分けする。</p> <p>年金横丁や親不孝通りを今の雰囲気を残しながらも改善し、親子や子ども達が線香花火を出来るような憩いの場に整備する。また、子どもだけでなく、年配の方を呼び込む方法も考える。</p> <p>公的なお金を入れるのではなく、市民活動として考え、店主、家主やまちづくりメンバーによるNPO法人を立ち上げて取り組む。</p> <p>商工会議所青年部が企画した走五酒ラリーは女の子の参加も多かったので、婚活イベントに繋げると良い。</p>
事業主体	NPO（店主+家主+まちづくり団体）、商工会議所青年部
協力支援	

10. 冬の道路対策

内容	<p>冬に安心して歩けるように、田名部駅前通りは歩道部分の除雪を店舗毎などに取り組む、本町通りは融雪の水が凍っている所以对策をする必要があり、行政と商店街と地区住民の協働で取り組む。</p> <p>水を流さずに、融雪剤を撒くだけでも良い。</p> <p>モラルの問題もあるので、ルールづくりをする。</p>
事業主体	商店街、地区住民、行政
協力支援	

11. 来さまい通りの整備

内容	<p>来さまい通りを、おしゃれなお店を誘致するなど、若者がデートできるような空間として整備する。</p> <p>物産館にカフェや郷土料理の店を出店する。行政が整備して、運営を商店街振興組合の協力の下、まちづくり団体が行う。</p> <p>事業には、新会社を設立する方法や、来さまい館などの指定管理者であるむつ商工会議所に取り組んでもらう方法が考えられる。</p>
事業主体	行政（整備）、新会社の設立（整備）、むつ商工会議所（整備）、まちづくり団体（運営）
協力支援	商店街

12. 公園の整備

内容	<p>田名部駅前通と本町通の交差点の空き地、下北交通の裏側の空き地を、芝生だけでもよいので公園を整備する。</p> <p>住宅整備と同様の考えで、行政が空き地を借地して、民間事業者が整備する方法も考えられる。</p>
事業主体	行政（借地）、事業者（整備）
協力支援	

13. 代官山公園の整備

内容	<p>代官山公園に花壇を整備して、親子で取り組める花育の場にする。現在有る木は利用して、空きスペースに遊具、トイレを整備し、暗いイメージから明るいイメージに変える。</p> <p>行政が整備し、市民との協働でまちづくり団体が維持管理するのが良い。</p>
事業主体	行政（整備）、まちづくり団体（維持管理）
協力支援	

14. 防災拠点の確保

内容	<p>柳町保育所が地区の避難場所になっているが、防災のため他にも必要である。公園整備とリンクして、避難場所は分かりやすく、行きやすい場所を行政が指定する。</p>
事業主体	行政
協力支援	

15. 映画館の整備

内容	地区に映画館が欲しいが難しければ、市民団体を巻き込む形で民間事業者が、市民が集うミニシアターを整備するのも良い。 松木屋など既存建物を活用するのは難しいが、来さまい館をミニシアターとして活用する方法もある。
事業主体	事業者
協力支援	市民団体

16. 防犯、安心安全のまちづくり

内容	モデル地区は夜暗いので、イルミネーションや明かりがあると綺麗で安心感もある。 また、空き店舗を派出所のように誰かが常駐しているような場所にすることで、安心・安全につながる。
事業主体	
協力支援	